

七高1年生NEWS!

英語で徹底討論! 尊厳死の法制化



1年生がジャッジ!



3月18日(金) 4限目

1年生生理教科は、昨年10月から「人間環境」という授業のなかでデイベートを学んできました。

デイベートとは、与えられたテーマの是非について肯定側・反対側に分かれて議論することです。第三者(ジャッジ)をより説得できた方が勝ちです。

この日のテーマは、「日本は尊厳死を法制化すべきである。」デイベートはすべて英語で行われ、1年生がジャッジをしました。話し手の生徒は、大観衆の前で堂々と落ちていて論じていました。

分からない英単語は
すぐ調べる!



肯定側が勝利!

専門的な英語で展開される議論を、ジャッジの生徒は辞書で分からない単語を調べながら観戦していました。

投票の結果、私たちの「自己決定権」を守るために尊厳死を法制化すべきだとする肯定側が勝利しました。

「自分が意思表示できない状態になった場合、延命措置を望まない人が7割いる」というデータが強い論拠となりました。